



あなたの心臓は
元気ですか?

“心臓の負担”の
程度をみる血液検査

ビー エヌ ピー
BNP

Q1 BNPってなに?

A1 BNP(ビーエヌピー)とは、心臓(主に心室)から分泌される、心臓を守るためのホルモンです。血圧を下させたり、利尿を促したりする作用のほか、心臓の肥大化や線維化を抑える作用があります。心臓に大きな負担がかかるほど、高い数値が計測されます。

Q2 どんな時に測定するの?

A2 息切れや呼吸困難など、心不全を疑うような症状がある場合に測定します。



Q3 BNPの検査方法は?

A3 採血した血液を機械で測定するかんたんな検査です。



Q4 BNPだけで心臓病かどうか分かるの?

A4 BNP検査は心臓への負担の程度を大まかに知ることができる検査です。基礎疾患(心不全の原因となる病気)の診断は、別の成分を調べる血液検査に加え、心電図検査、レントゲン検査、心臓超音波検査などが必要になります。

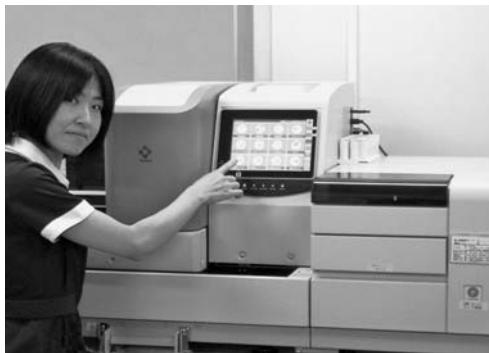
総合診断

疾患の診断は、BNP検査と他の検査の結果を用い、総合的に判断します。



最新のBNP測定機器を導入しています!

市民病院では、より早く、より正確に検査・測定できる最新型BNP測定機器を導入しており、主に「BNP」、「トロポニンⅠ」、「総IgE」、「PIVKAⅡ」の測定で活用しています。



▲市民病院に導入された最新型BNP測定機器

トロポニンⅠ

心筋のみに存在し、筋収縮を調整するタンパクで、心筋が壊死(えし)すると血中に流出するため、心筋梗塞の診断に活用されています。

総IgE

アレルギーに対して働く血しょうタンパクです。アレルギーの診断や経過観察に活用されています。

PIVKAⅡ

肝臓で作られる異常タンパクの一種で肝細胞癌のマーカーです。肝細胞癌以外にも、慢性肝炎や肝硬変、ビタミンK欠乏、ワーファリン投与などで上昇します。



問い合わせ

加東市民病院
☎ 42・5511

加東市青少年健全育成講演会のお知らせ

日時 8月22日(土) 13:30~15:00
場所 社公民館2階 研修室
※申込不要(どなたでもご参加いただけます)
内容 講演『少年たちに教えてもらったこと』
講師 神戸市保護観察所長 鈴木美香子さん
主催 加東市更生保護女性会

後援 加東市連合PTA
小野・加東保護区保護司会
加東市教育委員会

問い合わせ
青少年センター(庁舎4階・学校教育課内)
☎43-0542